

オーゼット ハイパーGT HLT

HyperGT HLT

最高峰のレーステクノロジーを凝縮したスポーツホイール

ハイパーGTの造形すべてには確固たる理由がある。トップカテゴリーを筆頭に、世界のレースシーンを掌握するオーゼット・レーシングの血筋を色濃く感じさせる逸品だ。

レポート | 中三川大地 | D.Nakamigawa フォト | 柏田芳敬 | Y.Kashiwada

最新技術を網羅した世界同時発売モデル

すべての造形には確固たる理由がある。イタリアン・ホイールメーカーであるOZ（オーゼット）は、イタリアラらしい芸術性に富んだアフターホイールに注目が集まる。しかし、彼らは安直にドレス



スポーク天面を極限まで薄く細く、逆に縦断面を厚く取って剛性を確保。縦断面形状やエアロウイングと呼ばれるリムエンドの形状、ローズマーキングというセンター付近の溝加工などは、最新のレーシングホイールからの技術である。



純正センターキャップを組み合わせたことも可能だ。センター付近を円形状に設定して、5ホールのほか4ホールにも対応させている。

アップホイールだけを作ってきたわけではない。その根底には世界最高峰のレースエンジンアライニングが脈々と流れている。実際にF1やWRC、ル・マン24時間を筆頭とするトップカテゴリーのレーシングチームは率先してオーゼットを採用する。それが勝つために必要不可欠だとして――。

ポークは、オーゼットのレーシングテクノロジーに満ちている。細く取られたスポークは、きっちり縦断面を取って強度やねじり剛性を確保し、かつ側面の肉が極限まで削ぎ落とされている。これらの設計はF1由来の技術だ。スポークとリムとが結ぶく形状はLM P1マシン由来のエアロウイングで、剛性確保とブレーキの放熱性に寄与するという。センターキャップを中心に拡がるローズマーキングという溝加工はLMP1やGT3マシン譲りである。

インチ設定を持つているが、この個体に装着されたのは前後ともに19インチ。これは純正ホイール比で1インチアップであり、フロント225/35、リア245/30というタイヤサイズを含めてBMW Mパフォーマンスのオプションホイールと同等のサイズだから、マッチングの良さは申し分ない。オーゼット・レーシングの「レーシング」を色濃く感じさせる雰囲気をもたないながら、無骨になりすぎることのないデザインを持つのも魅力だ。やはり常に「速き者は美しい」のである。

KWバージョン3でセッティングされたこのM235iには、フロント8.5J、リア9.0Jの19インチが。タイヤはそれぞれ225/35、245/30サイズのミシュランパイロットスポーツ4だ。



それらの技術は確実にロードカー用に活かされてきた。昨年、そのフイードバック濃度が非常に濃い銘柄として登場したのがハイパーGT HLTだった。F1をはじめLMP1、GT3マシンに供給されるレーシングホイールの考え方を凝縮して1本にまとめたようなスポーツホイールである。

実際、目に飛び込んでくる10本ス

HyperGT HLT

◎サイズ/価格
17inch × 7.5 / 61,020円
18inch × 7.0 ~ 8.0 / 74,160 ~ 78,300円
19inch × 8.0 ~ 10.0 / 95,580 ~ 99,900円
20inch × 9.5 ~ 10.5 / 113,940 ~ 116,100円
◎カラー：スターグラフィット
◎対応車種：BMW / アウディ / VW / その他国産等

